

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	東深井地域ふれあいセンター指定管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	01	04	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東深井福祉会館の利用者	意図	福祉会館を最適な状態で使用してもらう。
事業内容	指定管理者制度導入による管理運営を実施し、内容の充実、経費の削減、市民サービスの向上を図り利用者が最適な状態で施設を使用できるようにする。			
事業開始から現在までの状況変化	東深井福祉会館は昭和56年にオープン以来、地域福祉活動の場として徐々に利用範囲が広がるとともに、高齢者の憩いの場として定着していった。施設の老朽化が進行することによる施設改善、さらにはIT化が進む中、使用申請から許可までの一環したスピーディが求められるとともに、きめ細やかな対応も求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	総合的な満足度の割合				
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	1階の身体障害者福祉センター利用者と2階の地域ふれあいセンターの利用者との交流の場ができている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・盛り沢山の自主事業が行われた。 ・避難用階段塗装修理や入口スロープ舗装補修など適切な小破修繕が行われた。		
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総計(a=b+c)			2,759,000	27,945,000			
事業費(b)(円)			2,759,000	27,945,000			
うち一般財源			2,759,000	27,945,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					
					コストの削減	B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	利用者の視点に立った修繕が実施された。	③取り組みの課題	市民サービスを下げることなく更なる経費の削減が望まれる。
②今年度(H24)に実施した取り組み	数多くの自主事業が開催された。	④今後の改善計画	自主事業の充実と利用者の増加を図る。